

不二速報



発行日 2011年4月26日

第1号 2011年度執行部紹介号

11年度役員紹介 ～一年間よろしく願っています～

○ 執行委員長 新保 淳 (教育学部)

今年度執行委員長を仰せつかりました教育学部の新保淳（しんぼ あつし）です。もう相当昔に、中執平委員を務めて以来、久しぶりの「書記局」通いです。

「私は、『知らないということを知っている』なんて、一人悦にいていました。が、教育学部の皆さんからは、「新保さん、モノを知らな過ぎる」と思われていたことは、ついぞ知りませんでした。

そんな誠に頼りない委員長ですが、いずれにしても「一人でできること」には限界があります。ですので、勝野副委員長、阿波連書記長を「核」として、執行部全員が一丸となって働くことができるような環境づくりに専念し、昨年度の難問プラス今年度の事項に取り組んでいきたいと考えています。

○ 副執行委員長 勝野 廣宣 (工学部)

2011年度副委員長を担当する工学部支部（電子工学研究所技術職員）の勝野です。

宜しく願います。

さて、「人間は一人では生きていけない」と言われますが、世の中には、「俺は誰の世話にもなっていない」と考えておられる方も少なからずおられます。

日頃、「教職員組合に入っている、何のメリットもない」とか、「教職員組合に入っても、入らなくても同じ」とよく言われますが、本当にそうでしょうか？

教職員組合に加入されていない方も、教職員組合が大学当局と交渉して、勝ち取った成果を組合員と同じように受けておられます。

人は、存在しているときは、その存在に気がつかず、なくなってからその存在の重要性に気がつくことがあります。組合に加入されておられない方は、是非、組合が存在することの重要性に気がついてほしいと思います。

私は、来年の3月末で定年退職となりますが、最後まで頑張りたいと思います。

○ 書記長 阿波連 正一 (人文学部)

法科大学院（人文学部支部）の阿波連（あはれん）です。大学の存在価値、組合の存在価値が揺らいでいる現況にあります。静岡大学の「自由啓発」・「未来創成」の理念にふさわしい職場環境、事務体制および教育・研究体制の改善に向けて、新保委員長の下で、大学の組合という立場から、微力ではありますが、全力を尽くしていきたいと思っております。組合員のみなさん宜しく願います。

静岡大学教職員組合
<http://www.jade.dti.ne.jp/~suu/>

静岡：
〒422-8529
静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX:
054(236)0173 (直)
2790 (内線)

E-mail
suu@jade.dti.ne.jp

浜松：
〒432-8561
浜松市中区城北三丁目 5-1

TEL/FAX:
053(475)9035 (直)
3910 (内線)

E-mail
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp



目次：	
11年度役員紹介	1～2
第1回団体交渉日程 および申し入れ事項	2～3
3.23 東北地方太平洋 沖地震報告会	3～4
4.5 組合ガイダンス を実施しました	4
組合からのお知らせ	4

○ 執行委員 南山 浩二 (人文学部)

人文学部社会科学の南山です。この一年間、主に教育文化を担当いたします。

大学がおかれた厳しい状況のなかで、組合の重要性がますます高まっているとひしひしと感じています。不慣れな点も多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、与えられた仕事に精一杯取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 執行委員 花方 寿行 (人文学部)

人文学部言語文化学科の花方です。残念ながらプラス思考で組合に加入するというより、昨今の人件費・経費削減に絡む様々な問題を目の前にして、少しでも組合を通して教職員の発言を強めていかなければという危機感に迫られて加入したものの一人です。

まだ加入してから日も浅く、右も左も分かりませんが、少しでも現状の改善につながるよう力を尽くしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○ 執行委員 小川 裕子 (教育学部)

教育学部の小川裕子です。

執行委員は2回目で、1回目は今年成人式を迎えた娘が生まれる前のことだったので、何と20年以上が経過したことになります。

1回目は、とっても楽しかったという記憶があります。今度は、何か一つでも役に立てたらと思っていますが、どうなりますか。

どうぞよろしくお願いいたします。

○ 執行委員 伊藤 宏二 (教育学部)

教育学部社会科教育講座の伊藤宏二と申します。

本年度の執行委員として教育文化を担当させていただきます。

何分、初めてのことなので、わからないことは多いですが、皆さん方のご支援を頂きながら、若さと明るさを武器にできることを一つ一つこな

していきたいと思います。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

○ 執行委員 鈴木 久男 (工学部)

工学部物質工学科 (創造科学技術大学院・専任) の鈴木です。執行委員は以前に一度経験があります。今回で2度目ですが、今回も担当は組織・法制です。法人化以来、創造科学技術大学院の専任教員や学会役員としての仕事が多忙となり (例えば、工学部と創造大学院の評価実施委員を同時に担当しました。)、組合への参加はほとんどできませんでした。今年は専攻長も部門長も担当ではありませんが、創造大学院の評価実施委員会委員長として全学の評価会議への出席を求められています。皆様のために何処まで組合活動ができるかわかりませんが、できる範囲で頑張りますのでよろしくお願いいたします。

○ 執行委員 中 正樹 (情報学部)

情報学部情報社会学科の中と申します。

今年度、執行委員としてお手伝いさせていただくことになりました。

組合活動については素人に近い私ですが、この一年間勉強させていただきたいと考えております。

微力ではございますが、皆さまのお役に立てるよう頑張ります。

よろしくお願いいたします。



第1回団体交渉 5月24日開催決定!

4月7日、11年度二役および10年度書記長の3名で、人事・労務課長ほか大学担当者との顔合わせとともに、第1回団体交渉を申し入れました。

調整の結果、日程は5月24日10時からということで決定いたしました。

申し入れ事項は次ページのとおりです。

2011年4月7日

1. 静岡大学教職員組合三原則の確認
2. 静岡大学新執行部の基本方針について
 - 1) 教職員の待遇改善、働きやすい労働条件に向けた取り組みについて
 - ① 入試業務手当の改善
 - ② 技術職員の待遇改善
 - ③ 非常勤職員の応募条件の運用見直し
 - ④ 東西両キャンパス地域調整手当支給率の改善(当面、静岡5%、浜松5%)
 - ⑤ 労務職員(派遣職員を含む)への安全教育講習の全学的実施
 - ⑥ 振替休日の実質的な確保
 - ⑦ ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画)の推進
 - ⑧ 任期付助教の待遇改善
 - ⑨ 教員任期制の抜本的見直し
 - 2) 大学運営の基本方針について
 - (1) 東北・関東大震災による復興予算捻出に係る、平成23年度途中での運営費交付金減額補正等、人件費縮減の可能性への対応をどうするのか伺いたい。
 - (2) 基盤的教育経費の確保について
 - * 組織再編計画に伴うこの問題についての見解を伺いたい。
 - * 事務再編計画案に関して、事務体制について学長としてどのような認識を有しておられるのか伺いたい。
 - (3) 「人事評価システム」と「就業力育成支援事業」の導入に関して、「自由啓発・未来創成」の大学のアドミッション・ポリシーの観点から慎重にすべきである。
3. 前年度からの継続課題
 - 1) 非常勤職員(パート職員)の時間給の改善等労働条件について
 - 2) 非常勤職員の正規職員への登用試験の改善
 - 3) 男女格差問題についての制度面での検討状況
4. その他の要求事項

3.23 東北地方太平洋沖地震報告会 ～被災者への義援金の協力についてのお願い～

静岡大学教職組として今回の地震・津波・原発事故で亡くなった方々、生活する場所や職場を失った方々のことを心に刻み、私たちができる支援について考えようという趣旨で、3月23日に現地報告会をもちました。

会の冒頭、池谷保健管理センター長の呼びかけで黙祷をした後、理学部の里村先生から今回の地震について科学的説明があり、次いで3月12日～13日の間、岩手県宮古市立病院に医療支援に入った静岡県立総合病院副院長で、医療支援組織(DMAT)の一員でもある安田医師から震災直後の現地の状況について報告がありました。

急な呼びかけにもかかわらず、一般市民、学生、教職員が浜松約20名、静岡約50名参加しました。

参加者から支援の取組についての意見、質問があつ

たほか、東海地震に備えての学内防災ボランティア組織の再構築の必要性も強調されました。

この報告会の最後に、組合としての義援金募集など当面の取組として以下のように確認されましたので、お知らせします。

- 1 学長が呼びかけた義援金募集については、組合が当初求めた ALL 静大での取組態勢が明確となっていないこと等、全面的に納得できるものではないが、迅速な募金活動をすすめるという観点で、これに協力します。

* 全大教からは、3月18日に全国の単組へ募金要請がありましたが、大学全体での取組を否定するものではなく、また全大教に集約してもその先は



4.5 新任教員「組合ガイダンス」を実行しました

毎年恒例ですが、2011年度前期から着任される新任教員の方々を対象にした組合ガイダンスを、4月5日の全体ガイダンスの昼休みを使わせていただき、実行しました。

ガイダンスにおいては、まず組合役員の紹介が10年度書記長の岡端先生から行われ、続いて10年度執行委員長の芳賀先生から挨拶と組合活動の紹介がされました。引き続き11年度執行委員長の新保先生の挨拶があり、さらに西部書記局の吉村さんから組合の福利厚生サービスについて説明がありました。

新任教員のみなさんにとっては忙しい時期であり、組合加入の手続きは後回しにしているうちにしそびれてし

- 共同募金等の機関を通じて被災者に送るとのことですので、当面、組合独自の募金には行わないことにします。
- ただし、今後、被災地域大学の教職員組合から、支援物資や義援金等の要請が本組合にあれば、執行委員会等で確認しつつ全面的に協力します。その場合には、募金趣旨を明確にしたうえであらためて募金を呼びかけます。
 - 復興が長期化することは避けられないことから、中長期的には、現地の受け入れ体制の整備状況を確認しながら被災地へのボランティア派遣についても学内他団体と一緒に協議します。

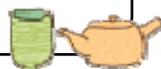
まうこともあるかもしれません。遅くなったからといって気後れせずに、関心をお持ちの方はぜひお近くの組合員にお声をかけていただき、加入手続きをとっていただくよう、よろしくお祈りします。



おいしい新茶販売中です！



収益金（斡旋手数料）を東日本大震災で被災された全大教加盟単組・組合員を対象とする「救援募金」へ当てます。



- ◇ 緑茶、紅茶、ほうじ茶と種類はいろいろ
- ◇ ティーバッグは一番紅茶

とてもおいしいお茶です。ぜひご利用ください。

商品、価格等は組合HPでご確認ください。
お申し込みは、申込書・メールでお願いします。
申込〆切 5月12日（木）

被災された全大教加盟単組・組合員を対象とした救援募金は以下の口座で受け付けています。

【受付口座】

中央労働金庫 一ツ橋支店
普通預金 3599543
全大教東日本大震災義援金（大学）

*ご依頼人の欄に組合名を記入してください。
なお、全国の労働金庫から送金するときには、さらに「義援金」と明記下さることで、振込手数料が免除されます。

「激励メッセージ」も募集中です。
メールなどで書記局あてお送りください。

静岡県母親大会

「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」

☆と き：5/15（日）10時～16時 ☆ところ：静岡県立磐田農業高等学校

☆記念講演：森住 卓さん（フォトジャーナリスト）

「核にむしばまれる地球 劣化ウラン弾 核実験被害地域の取材から -被爆国日本の課題は?-」

ほか24項目の分科会など、内容は盛りだくさんです。

☆参加費：1000円（高校生以下無料）…組合で補助します

☆保育、駐車場あります。（駐車場代 1日100円）

